

教えて先生



ママの悩み



Q

私はもうすぐ4歳と1歳の娘を持つ母親ですが、最近、長女の口答えに参っています。「でもね」「だけどね」「だって」の連続です。4歳くらいの子どもは、皆そうですか？対処法も教えてください。

A

お姉ちゃんの口答えの対応に困っていらつしやるのですね。ご質問を読みながら、もうすぐ4歳なのはどうしてききわけがないのだろうか？と悩むママのお気持ちに共感しています。私の娘にもこのような時期があり、そういう態度にいらだったり、腹立たしい思いをもったり、情けないなどどうしようもない複雑な気持ちになった私自身のことを思い出しました。

結論から言ってお子にも多かれ少なかれ口答えをしたり大人の言うことを聞かなかつたり、いわゆる「反抗期」といわれる行動は見られます。第一次反抗期と第二次反抗期という言葉が使われますが、子どもの成長発達が一番目覚しい時期に、一過性で強い反抗（これが無いお子さんもあります。しかし、反抗期が無く手がからなかったので安心という訳のものではありません。）がみられることがあります。第二次反抗期は思春期ですが、幼児期の場合は、3〜4歳の頃が激しいと言われます。しかし、これは自立がはじまり、目覚ましい発達に伴い生じる自己主張によるものですか、自我の発達が順調にしている証とも言えるのです。ご相談のお子さんも自我の発達が順調にしていると言え、むしろ独立宣言と言えるかもしれません。また、一過性のもので、相手の気持ちの解るようにおだやかに応答していけば、そう長く続くものではないと思います。

ではどう対処したらよいかというご質問ですが、私自身も「この反抗的な行動は、正常な発達をしているということだから」と理論的には頭で解っていて、冷静なうとして、私も生身の人間、腹が立つて

どうしようもないこともありましたが、叱つたり、ガミガミ文句を言ってしまった後に「しまった！」と思ったこともありましたが、ある夜、娘のあまりにも激しい口答えで私も力ツとなり、真つ暗な部屋に隠れたことがあります。「たーたん私のことです」「たあーん！」と泣きながら私を探し廻る姿に、「この子は私を必要としている」と強く感じ、同時に気づかされたことがあります。それは、子どもはある時期にきたら、「母親から自立したい。けれどまだ甘えていたい」と行ったり来たりし、その小さな胸の中で揺れてどうしようもない気持ちを「反抗」という態度で表すのだから、ということ。きつとご質問のお子さんも一生懸命自立に向かっているだけども、でもまだもうちょっとママに甘えたい気持ちもいっぱい、「でもね」「だけどね」「だって」と自分では解決できない気持ちを一杯表現しているのでしょうか。ママがその気持ちをちよつと察してあげて、「お姉ちゃん頑張っているね」とほめたり、「妹の面倒を見てくれて助かるよ」とお姉ちゃんとして頑張っていることを認める対応が「私も大きくなった」というプライドをくすくすり、素直な気持ちに導くのもいいかもしれません。また、時にはおさんのイライラしている気持ちに共感し、その気持ちを「頑張っているけれど、上手くないかないのね」等と言葉にして、そつと手渡してあげることも良い対処の方法だと思います。

でもそれができるのは、ママ自身にゆとりがある時でしょうか？ママの「育児や家事に完璧はなくてもいいんだ」と思える気持ちや楽しい計画がある時には、ちよつと

余裕があるのではないのでしょうか？ママのゆとりが、少しずつ子どもを落ち着かせ、成長と共に反抗も和らいでくると思いますよ。

また、なんといつても緩和剤になってくれるパパ（それに代わる方）に登場してもらうことが長期化させないコツだと思います。パパや周囲の方々、また大変な反抗期を乗り切ったママ仲間と話をしたり、ご自分の楽しみもみつけたりしながら、今この時にしかない子育てを一緒に楽しみたいよ！

こんな時期読んで欲しい絵本を紹介したいと思います。ぜひ読んでみてくださいね！



「ちよつとだけ」
瀧村有子/さく、鈴木永子/え
福音館書店



村上 里 絵先生
むらかみ り え

- 1985年 日本保育学会会員
- 1995年3月 福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了(教育学修士)
- 1995年9月 近畿大学九州短期大学通信教育部 非常勤講師
- 1998年4月 麻生医療福祉専門学校 非常勤講師
- 1999年4月 北九州市保育所連盟保育士会「応答的保育研修」指導講師
- 2001年4月 光沢寺中井幼稚園 副園長
- 光沢寺保育園子育て支援センター アドバイザー
- 2002年9月 福岡県立大学 非常勤講師
- 2003年5月 北九州市社会福祉研修所「乳幼児保育講座」「中堅研修」指導講師
- 2005年4月 西南女学院大学短期大学部 非常勤講師